

野球部 支部春季大会 優勝

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2023年5月16日
第10号



5月9日から始まった高野連春季支部大会で本校は決勝で北照を破り優勝した。全道大会は5月24日から始まる。「春季大会は夏の選手権大会に向けての大切な試合となる。一つでも多く勝ち進みたい」と金山准大主将は強い決意を語る。

冬季間の打撃練習で 相手投手を攻略

冬に鍛えた打撃力

なぜ、強敵に勝てたのか。ズバリ、主将の金山くんに聞いた。「冬季間、北照のエース上川投手の速いストリートを打つことを意識して練習してきました。スイングスピードをつけ、振り込みで鍛えて、速球に負けない

打順	氏名(ケス)	守備
1.	増井海音(3-4)	ショート
2.	神 大輔(2-4)	サード
3.	松宮幸大(3-3)	キャッチャー
4.	金山准大(3-4)	レフト
5.	北山大翔(2-3)	セカンド
6.	坂井勇友(3-2)	ファースト
7.	桂 拓夢(2-4)	ライト
8.	石井 撰(2-4)	ピッチャー
9.	前田海都(2-3)	センター

▼2回戦(5月12日(金))

	1	2	3	4	5	6	7	計
岩内	0	0	0	0	0	0	0	0
小樽双葉	0	1	2	1	1	0	2×	7

投手：石井一捕手：松宮、三塁打：金山(3回)

▼準決勝(5月13日(土))

	1	2	3	4	5	計
小樽双葉	1	3	1	3	5	13
小樽桜陽	0	0	0	0	1	1

投手：中屋、高橋(5回)一捕手：松宮
三塁打：坂井(4回)
二塁打：神(2回・5回)、北山(4回)
松宮(5回)、金山(5回)

▼決勝(5月14日(日))

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
北照	0	0	1	0	0	1	1	0	1	4
小樽双葉	2	0	1	0	0	0	0	2	×	5

投手：石井、佐藤(4回)、中屋(9回)
一捕手：松宮
二塁打：松宮(3回)、坂井(8回)

準決勝から吹奏楽部が応援を盛り上げた。安藝部長は「20曲を選び、スタメンが決まってから本格的に練習した。炎天下、長時間吹き続けるのは大変でしたが、野球部や一般の方と一体感を持って応援でき、燃えました」と語った。吹奏楽部にも拍手を送ろう。

チームと個の努力結実

たとえば、ショートの前田海音くんは毎日、朝練に励み、ウエイトトレーニングや葛西先生のノックで守備の基本練習をしてきた。「足が止まらないよう、インバクトの一步目のスタートに気をつけてきた。」



力をつけました。「決勝戦でその成果を発揮することができた。また、「北照は1番から9番まで力強い打線が続きます。一方、双葉は守備からリズムを作り、流れを作りました。1回表を3人で抑えることができ、小差で試合を進め、終盤で勝負する展開になりました。作戦通りですが我慢勝負でした。」と語った。また、チームとしてだけではない個々の努力の結晶もある。

吹奏楽部も後押し

大会に向けての大事な大会になる。一つでも多く勝ち進みたい。抑えられる点数で抑えて、接戦をものにしたい」と語る。また、「支部大会での吹奏楽部、先生や生徒の皆さんの応援にとっても感謝している。みなさんの期待に応えられるように頑張りたい」と語った。